

【考え・基礎知識】

人生における主要なイベントの時期及び特徴を理解し、重視するイベントを説明することができる。

【つながり】

自らの価値観に応じた支出の優先順位を適切に設定し、具体的なライフプランを考え、説明することができる。

【応用・ひろがり】

他者のライフプランに対する考えを踏まえ、キャッシュフロー表に基づく計画のよりよい提案をすることができる。

◇ 学年 第3学年

◇ 単元名 ライフプラン

◇ 単元の目標 ライフイベント表及びキャッシュフロー表の作成を通して、教育や住宅取得などの人生における主要なイベントに対する関心を高めるとともに、価値観に応じた生活設計のための方策を理解し、人生を長期的な視点で捉えるための考え方や手法を身に付ける。

時	主な学習活動
1・2	<ul style="list-style-type: none"> ライフイベント表の作成を通して、老後までの主要なイベント（教育・住宅取得・退職等）を実施する時期を考える。 有意義な人生を送るために、重視したいイベントが何であるのか（自己の価値観）を理解し、他者にその理由を説明する（他者の価値観の理解）。→ 本時
3・4	<ul style="list-style-type: none"> キャッシュフロー表の作成を通して、各イベントに必要なコスト（概算）を理解する。 家計の収支バランスに配慮しながら、教育・住宅・老後等に係る「大きなお金」の見直しをするとともに、ライフプランに応じた支出の優先順位を考える。
5・6	<ul style="list-style-type: none"> 自ら作成したキャッシュフロー表について、小グループごとに発表・検討する。 自らのキャッシュフロー表作成に当たってのコンセプトを明らかにしながら、小グループの代表者が全体の前で発表する。
7	<ul style="list-style-type: none"> 自らのライフイベント表及びキャッシュフロー表を点検・修正し、報告書を作成する。

自らのライフプランを考える中で、自己の価値観を見つめ直すきっかけにするとともに、他者との対話を通じて、多様な考え方や価値観があることを認識させる。

◇ 本時の目標 有意義な人生を送るために、重視すべきライフイベントが何であるのかを理解し、他者にその理由を説明することができる。

◇ 学習の流れ(2時間目/全7時間)

学習活動	指導上の留意事項(◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準(観点) (評価方法)																													
<p>1 課題意識をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各自が作成したライフイベント表を基に、ライフプランを他者に説明するための準備をする。 小グループ内で、ライフイベント表を共有する。 自己と他者の意見を比較し、考え方によってライフプランの設計は大きく異なることを理解する。 	<p>◇自分のライフプランには、どのような特徴があるのかを意識させることによって、他者にわかりやすく伝えるための準備をさせる。</p> <p><ライフイベント表></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年</th> <th colspan="5">家族の年齢</th> <th rowspan="2">ライフイベント</th> <th rowspan="2">かかるお金</th> </tr> <tr> <th>夫</th> <th>妻</th> <th>長女</th> <th>長男</th> <th>次男</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現在</td> <td>35</td> <td>32</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>次男が誕生</td> <td>出産費用10万円</td> </tr> <tr> <td>1年後</td> <td>36</td> <td>33</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>長男が幼稚園に入園</td> <td>入園費4万円</td> </tr> </tbody> </table>	年	家族の年齢					ライフイベント	かかるお金	夫	妻	長女	長男	次男	現在	35	32	5	3	0	次男が誕生	出産費用10万円	1年後	36	33	6	4	1	長男が幼稚園に入園	入園費4万円	<p>【課題発見】</p> <p>漠然と捉えていた将来と具体的なプランとのギャップを認識させる中で、自らの価値観に対する課題意識をもたせる。</p>
年	家族の年齢					ライフイベント	かかるお金																								
	夫	妻	長女	長男	次男																										
現在	35	32	5	3	0	次男が誕生	出産費用10万円																								
1年後	36	33	6	4	1	長男が幼稚園に入園	入園費4万円																								
<p>2 本時のめあてを確認する。</p> <p>めあて 自らの人生を最も充実させるライフプランを考えてみよう。</p>																															
<p>3 個人活動①(重視するイベントの抽出)</p> <ul style="list-style-type: none"> 作成したライフイベント表を基に、重視するイベントを抽出する。(自己の価値観の認識) <p><キャリア形成的視点> 結婚時期、教育費用、住宅取得などを中心とした抽出が多いと考えられる。→そうしたイベントを優先的に考えることで「働く」というイベントが、後回しになる場合があることを指摘し、「どういった働き方」がしたいのかを中心に据えるキャリア形成的な考え方もあることに気付かせる。</p>	<p>◇他者の意見を参考に、自分が人生において最も重視したいイベントは何なのかを考えさせることにより、自己の価値観について意識させる。</p>	<p>【深い学び】</p> <p>対話を通じてライフプランを見つめ直す活動においては、教師が安易にイベント作成に関する一般論を提示することは避ける。他者の意見を聞いたり、じっくりと自分の人生を考えたりする中で、価値観を再考させる。</p>																													
<p>4 グループ活動(他者のライフプラン)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小グループ内で、重視するイベントとその理由を発表し、共有する。(他者の価値観の認識) <p>5 個人活動②(ライフイベント表の修正)</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者の価値観を踏まえて、よりよいライフプランを考える。(自己の価値観の再認識) <p>6 本時のまとめを行う。</p> <p>生徒のまとめ例 教育に関する考え方、自分のキャリアに関する考え方は色々あることがわかりました。結婚や住宅取得に関する時期は、自分のキャリアの問題と衝突する場合もあり、自分がどんな人生を送りたいのかをよく考えなければならぬと感じました。また、ファイナンシャル・プランナーという職業にも興味を湧いてきました。</p>	<p>◇自己の価値観と重視するライフイベントが繋がっていることを意識させ、他者にその考えを披露させる。</p> <p>◇自己の発表に対する他者の質問や他者のライフプランの発表を聞くことによって、自己の価値観を再認識させるとともに、他者の価値観と異なるケースがあることを確認させる。</p> <p>◆修正すべきイベントに対する考えがまとまらない生徒には、対話を通じて、自己の価値観について再考させる。</p>																														
<p>7 本時を振り返り、次時につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ライフプランとは、「価値観の集大成」であることを認識する。 	<p>◇「ライフプランとはこうあるべき」といった固定的な考え方はなく、自己の価値観に基づくプランの作成を心がけるとともに、他者の価値観も尊重することが重要であることを認識させる。</p>	<p>・ライフプランで、重視したいイベントが何であるのかを理解し、表現している。 [思考・判断・表現] (ワークシート)</p>																													